問 空き家の数

答 506軒です

議員　把握状況は。

地域創生課長　506戸が確認されてます。

議員　調査費用は。

地域創生課長　864万円です。

議員　活用実績は。

地域創生課長　バンク登録は52軒。成約軒数は39軒です。

議員　情報把握は。

地域創生課長　活用の問い合わせをいただいた場合に、現地確認して、ホームページに載せて周知してます。

議員　移住定住につなげる努力は。

地域創生課長　補助制度をPR、物件が使いやすい状況をつくり、対策につなげたい。

議員　パンフレットを渡した、プロの集団の力を活用しては。

地域創生課長　大変心強い存在、検討をしなければならない。

町長　行政だけでは難しいところもある、前向に検討したい。

議員　入学祝い金制度の実績は。

福祉保険課長　28年度は57名で285万円。29年度は59名中56名で280万円です。3世帯3名は、町税を納付されていない関係で支給してません。

佐藤　博　議員

議員　公平な見地から支給すべき。滞納に充当する方法もある。

福祉保険課長　税金等を納めていただき、受給することが基本と考えます。

議員　全員に出すのが公平ではないか。出すものは出して、いただくものはいただくという考えはないのか。

町長　制度の原点を考えれば答えがある。

議員　子供に罪はない、全員に渡してほしい。

問 答 レトロな町並み

お答えできません

議員　その後の構想は。

商工観光課長　観光協会と商工会が連携したバスツアーを受け入れてます、誘客を検討する中で、商工会や関係団体等に計画があれば検討していく。

議員　前回の質問から9カ月が経過、進展したのか。

町長　進めてはいるが、なかなか進まない。

議員　3月には「新建材を使わずに木材を使用して整備したい」と答弁をされた、前進したのか。

町長　その件に関しては進展していません。

議員　レトロの代表的なビリヤード場の管理者の方は「8年前から町で活用しませんかと申し出ているが、一向に回答がない」との話です。

商工観光課長　6年前の課長まで確認しましたが、正式な申し出はございませんでした、所管課としては検討してません。

議員　ビリヤード場の管理者さんは「年に3回ほどイベントの度に町から依頼があり、提供しているが、屋根が傷み、建物が壊れないかと心配になってきた、補強をして活用するならば活用してほしい」とのお話です。

　また、パチンコ店の所有者さんは「昨年から空き家となった、活用してほしい、提供してもよい」とのことです。壊されるまでに期間的な余裕はない、これ等の建物を生かし、レトロな町並みを維持継続していくのか、曖昧な回答では所有者が迷う、明確な回答をください。

商工観光課長　パチンコ店は旭町が七夕まつりでお借りしているもの、ビリヤード場は、まちづくり委員会が使わせていただいているもので、町が使わせていただいているという事実はございません。

議員　レトロな町並みづくりを考える上で2軒が解体寸前ですよ、取り壊されてもいいのか。

町長　町は関与していなかったので、はっきりしておかないと今後に影響すると思う。

議員　構想はどうなっているのか。質問に対する回答を願います。

町長　問題が重なっているんですよね。レトロな町並みづくりということと、レトロな建物を壊す、壊さない、これから使うとか使わないは違う話だと思うんです。

議員　2軒の所有者は壊す意向です、壊されてよろしいか。

町長　それはちょっと答えられません。

議員　町は関知しないということでよろしいか。

町長　お答えできません。

議員　所有者の判断と伝えます。